少將 今里 博二

ぬ。悠久二千六百餘年、その寸 即ある歴史を概承した榮譽あ

戦争には既じて勝たねばなら

疑して相解つのであるのを思ふ

せぬもの、教育上語類に必要と も、軍において保存を特に希望

ぜられる程度の物も、これを選 祖先から呼ばる物も、愛玩の物

送へ協力

重要物資輸

い者と難も、手を束ねて傍歌す

をなるいる日常生活を持たねば

力することがあげられてゐる。

とき、銃後もまた食ふべき多く

たる各家庭の金融品を回收する

勝利の爲の金屬回收

者殁死争戰亞東大

海軍党会委(九月二日)午前の時、本日大東部院領導、年間の経済、上に続し続け行政の自然がを持したり、今回版論に治したるものは昭和十六年十二月より昭和十八年三月までの間において西議館が出る領長の一部に回版論に治したるものは昭和十六年十二月より昭和十八年三月までの間において西議館が出る領長の一部に

慢賞の榮、百七十一

してうち殊動甲として経営せられたるは海軍少將今里博以下百七十一名なり

黎朝長同國を防副大臣ピー・クソ

韓福貴 | 日登] 朝茂炎を呼吹す | 特部の物鑑力を傾けて過ぐる六月 | レンドバ部ならびにコニーギニヤ | 日本 | 中国大学学リロモン群語の一向

島東北部の一地點ナツソウ酸に同 レンドバ島ならびにニエーギニヤ

三十戦線わが将兵奮迅

麦緊破炎上の戦果を懸けた、

機を叩き落し敵船圏に爆撃を加へ、巡洋艦一隻を大破、

この日の歌師においてわが方は自爆一機、未歸豊二機の徹底を出した

大本營發表 (ヵ月1日十八時十五分) 本日末明敵機多数南鳥島に 來襲、

島エオデッ 南 ^{烏島大} 大

身近に威得す、敵空襲

ほ敵は艦砲を以て陸上を砲撃せり

を身近に燃得しつくあるのである。 東南方約二千キー 東南方約二千キー

機數十機をもつで挑戦して 來にが、わが必殺の 突撃戦で、その二見、 直ちにわが戦爆連合の大編隊は敵船上空に 殺到した敵も戦闘

め、金銭扇鑑したが翌卅一日には

艦一隻、驅逐艦一隻、小型輸

強補給せんと企画してゐるが、その

東京電話1 製 勇士は大東亜阪母の橋取たる昭和

て印度洋方面で出烈な耐死を急げの各作戦に参加し続々の武職を樹

一名の多きに及んでゐる

今里少將に功三級

する陸鷲=西南太平洋上にて(響調響調整)

電話」決威下わが在郷軍人

王 ポリス 三世の 逝去を悼む 富

ラエ、サラモアに勇取を闘す

動を許さない 変数に対して 変数に対して

創

ニイチ

工

根本思想

草薙正夫驛

豫定價 大 M

F.110

電イチェ研究の甌片的観客中に製糸常を扱いて舞くその決定版である。電影の立場より彼の思想を賛楽的に鉄道でる唯一のものであり、又勝しき本筈はヤペパースの名著「コイチェ」第二部根本思想の完課にして、資存

制壓の駿翼

隻を炎上

海鷺・敵補給企圖を捕打

隻を上

中山々脈を飛び越え一萬メート

の最災配念日

太陽の誕生と死

▼ 個二國九〇 〒11〇

(刊新

社材教

常の具體的生活と

びつけて説述したものである 事である人格鍛錬の方法で日

選書養敎の日今

活かせ大震災の經驗

あれば憂ない

職學 校 新歐洲建設 經 Ø

京東警 版 社 材 教 婚本都京東 三七九二九一 社 材 教 四/三元本

一杉書店 馬電車

夏B 構想

アラベスク『まご 知と愛の生活で記 獨逸語慣用 竹の本(文部省)手量 句11000 章終りの薔薇(14) 唯子木・小出著

會商トイラ藤佐錦本町谷工細

智内閣總辭職

民衆とゝもに相携へて取ひ抜くべ

る日まで日郷州國民は東亜十億の放発を行ひ東亜新秩序の建設され

【東京電話】パー・モウビルマ國 | 五時外担

e i 相 交雕放送

息

タイムス出版社・新刊重版書 獨逸語文法整 自 (増補新 逸 語場際四〇〇〇 版 獨 理ノート 逸 語

大島、C社会社会 小。原度正常 鹿子木•小出著 二著 三著 東京京福本規町 8 ノ 17 振 管東京 6 1 8

855

國體の本義を體得

指導を買へるとに依って國民の協にそこまでもつて行く組織と頭い

職場に於ける軍隊組織

私共の将へでは大幅二つの要

券務の現況と仕奉隊展覧

施設及び回收物資指定

0

稻作に「土瓶水」でも効果頗る大

賴みは中旬迄の雨

本月中に一切を完了

先づ技術に習熟

電氣事業の統合

狙ひは生産の増强

局閣 泰國 政府は八月 卅一日

金聯設立滿十 有價證券三億圓を保有

小林嶼への一人を記る。

で代かれ

別祭月經 不順に



へミスト



野軍 死 の生備 明 一番

資期

秋日 60 米京城市中区明治町15日 16日 地

戦局を支配の火力

大定の鍵天羽英二線・豊富の調整 ・豊富の調整・豊富の調整・豊富の調整・豊富の調整・豊富の調整・豊富の調整・豊富の調整・豊富の調整・豊富の製造・豊富の製造・豊富の製造・豊富の製造・豊富の製造・単本・

小沼洋夫

打開白鳥敏夫門武。精神幹

地下を探る 挺身隊

兵務防衛隊長列席し、古市府衛軍長、復田府理事、職原府

男、千田府鄉務郁長、伴府工

日午後一時から正際で明達

眞に武門の誇り

殊勲今里少將遺族の感激

つつあるが、厥観では半島の経蔵まなほ嫌い激励は微々と寄せられ

た半島の極減を盛った事業を

以て御歌及び御菓子下賜の御 を慰め且遺族は頼の御思召を 学の取死を設けた男士の英華

に大東距戦争で名 長くも島后座下に

し同二時廿分頃博選式を終っ

された光祭に汚駄を残してはな

集まる比丁は大東亜取下國家の馬

献金の使途

遺族に御仁慈

お召に備へて

成像を開いた。即ちまつ國民機校

取時報 一等當級

きのふ府廳で御下賜品傳達

野から離んで原道すれば故三

氏母か十一名は就しく孫受

取引を樹て印度洋方面において出取引を樹て印度洋方面において出

後卒業、開放剪頭より海上部 掘官として太平洋に蘇々たる

【佐世保電話】殊勳甲恩賞の報を

【釜山雷話」 朝鮮木材取粉木谷町

宮崎から海洋筏

睛の門出に温い總督の激勵

比の海軍魂を遺憾なく配揮して 和歌に堪能で戦中から家庭に登ら 配的な武人であるとゝもに漢語・

た数々の作詩はいづれも無思無

たぶる空への熱理は一個航空 滅分子となって仇骸米國と

の響が閉り、アツツの現裏 隠國民をゆすぶり起しひ

側を指き起すが半腸では十四、紅機を一般と緩め特に続く手がら廿日迄を航空観問とし青。に続しては航空と関する場心

のもとに盛大な記念行事を催 府並に國民称力朝鮮聯盟協力

般人に對しても航空に関する

自は大東亜成下に再び迎 気の気に響き渡るとき來る

四回航祭日である。この

就だると大名への情報を喚起 少年感徒に《君こそ次代の荒

と関味を持たせ子弟の航空界 熊國防航空間を中心に練督府 出の理解を深くするため朝

| 半島|| 平五百歳航空池中を

即ちこの日廿日は金鮮名戸を開催、航空週間中級複数競

全鮮に繰展く絢爛の行事

凝る航空週間

二殿下廿年祭 御内々に執

行さる

京電路】屋災記念日の一日は

支が間に抑出大品の価値に関けと、め昨年一月十七日スマトラ朝バカ・ヴ三日の後オランズ氏の司忌交職に飲事する半期の親リンプでいて再選集戦・軟の心臓を繋がるし、撃、原田民に助けられ場を鳴ったできる場であるとこのと認定能の費。タフル飛行場次朝月深東次に亘った。東南五キロの智米地帯にて得かる場合をあるとこのと認定能の費。タフル飛行場次朝月深東次に亘った。 **町神の倒物放出山場大、烈々たる部時は天明島園町人の精 中職をかや十枚機を解映したが無郷く《半郎の解》川耕 らせてある、まことに近山大殿の として風郷出動、地上の郷郷に必郷町の郷さる忠昭に「仏閣米延朝総否の失順に釈迦を排 レスル飛行場攻撃にも部隊に懲役を勝断する郷さる忠昭に「仏閣米延朝総否の失順に釈迦を排 レスル飛行場攻撃にも部隊に懲役** <u>増製山町野山面北山南</u> 田殿物源とともにベナン、アイル 砂の武職は故山原南北 産を造成なく廃地したもので大東

ル も観面、左脳を励つき強にないて トン東南五キロの常林地帯に不得

む屍と他功を図てゝ取つた半島の

差り出さればならぬ。本野は右目的や以て、劇情型の脳や河と相提派し、第一回監督の動物を受け出さればならぬ。本野は右目的や以て、劇情型の脳や河と相提派し、第一回監督の動物を 各々は如實に體験した。航空知識を國民が持つてゐるか否かは一類の疑考を決する。これは 今回の大東部取得、欧州の取局において如何に空軍の活跡が一國の運命を左右してゐるかを

地方の天候不順により一部には早

戦闘する省もあるので、脚

深の確保については當局が高金|ほうれん草、泉、玉路、にら、ふき|

來るだけ班子の節約を殴づて頂

牛骨、郁薬などの取扱ひ方を親切

蒔きませう秋のお野菜

蔬菜栽培に 當局から、虎の 巻き

真原氏語る

電食は各自労働し、傷質機は晩行せるる事) 午前九時期會

つて現れるが、期待の前となっ

かだ

回全質

の聞二十年祭に借らせられるの

荒鷲の武勳讃へ

靈前に捧ぐ眞原航空士の微衷

ともなしかたかつた。大財はここ

質を預る海軍場託、明鮮航空社長

治し、全解の郷山、 是要職物増産運動は一



母とませう

類切丁姿に、どんな場合 でも不愉快な印象を與へ 商店員の場合 ないやう 量を明示してお は彼め時刻と △お客の求める物が品切れ の場合も親切に順待しま

館従業署の場合

▲飲食物は入念に開理し祝

とのないとで、 坂は織町の架旅館で千三百回詐取

犯即を映然起って一掃すべし

の名葉

まなりを

ペピーサ

空飛行大會、航空而散見學、模型

組合へ融資 營團が貸家

一、待

京城職業紹介

、九月九日 ・ 九月十日午町へ時は粉ェ於ラ行フ・4付 場所・ 九月十日午町へ時は粉ェ於ラ行フ・4付 人物著客(独古助日状定)~ ・ 九月十日午町へ時は粉・一般ラ行・4付

なた種助し出した、去る十三日京 | 成ずと氏に、 橋 殿殿殿殿道の一掃| 時影をひそめてゐた低巒祭官が | 殿殿殿殿殿殿長は一般民衆に壁戒を 街に蔓る偽警官 斷乎一掃へ一般の協力要望

を押して左の如く談話を發表した促すと共に、傷經濟警察官の一掃

百一十圓三十一錢

産原地、 (竜山) 集

高級的な協議を持続しています。 「別のでは、一個のでは、一個のでは、 「別のでは、「別のでは、 「別のでは、「別のでは、 「別のでは、「別のでは、 「別のでは、「別のでは、 「別のでは、 「のでは、 ・常用! カづける 仁丹 栄養攝取を高度に

陈式照此京城工場





但し十四第二十組、五四年十組に き」で京城へ向つた、氏は単中で を完了して、一日藍山通過『あかつ 北京行の興服への一旅客から、と に密航するが、従來の海洋筏よー 開封すると、小生廿日間餘に置つ 中鹿児盛解山川、宮崎鰯細島洋筏は内海を廿九日出巡して

民魅力朝鮮緊盟に終到した記念写機兵制の威嚇を賦金に現して、國

麗し美談一 鮮鐡四機闘士の隱れたお手柄

九日松山般で御厄介になった解説

中支班上海へ

本社寄託献金

百里少 医睫状主 显然 经日九月二十五日是张式我皆换,停一什公告

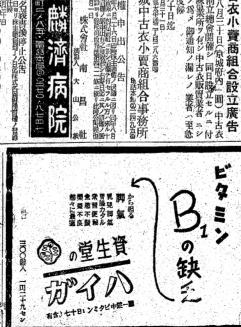
株式會社朝鮮商業銀行

七千八百十五圓

才技師

成養 島





1 たんトくをではようと首らに同歌 すると四君共に非常に感激、これ 判明・官ちにこの旨を電話で通過 時俗密優等を頭筋軟金する」 ※姉様 家具屬更生 《海醫院》

申し合せ、こゝに避はしい美骸ニ

月々二石五斗を呼過減入の他同月に勢し四十六人分の記給を申請し

な特配を受けた他高尚被養成員、福泊に對し、口質を守うけて不當 來城の潮州國立新民民党部日曜の

を で苦しい咳 で苦しい咳 に同類がする。 に同類がする。 に同類がする。 のの類で、 に同類がする。 のの類で、 に同類がする。 のの類で、 のの類で、 のの類で、 ののが、 ののが

10 紫鹭

氏したは三十一日子前原岡の登路

株式會社南

山昌 2

第一 商• 电 块 大 會 插

定法

京城職業紹介印

3)身腹強びニノトー)

集

一、應募資格 募

7.5.

職募求

こ一時逝去せられ院田生即の個學館御功績を程酬し及に蘇門談役住友は左衛門と場所以領別原中の席代月二十一日 ・ ドクトル 工 院長医博 松

本果然都整理大会社

主催

朝鮮國防航空團 京城 日報 社

HAM S

藥 純品 夏

こシャ

京城府龍山區淡江通一丁目西町

永登浦朔日會例會

銃後防火に新たな決意 きのふ博文寺で歴災大法要

を耐火酸素の確立をもつていたな をのふ一日は網景大震災廿一周町 の場合は大震災十二周町

決戦だ目覺めよ有閑

京城に遊ぶ家庭が二萬三千月

・ 悪极生徒の | 開催 | 霞の不稼生』に就て梅谷即 | 本った

自給肥料の案堆肥反當三百世級

西事務について和々打合を行ひ同

部議長の過樂を求めて属行政の政

风當り、三百貫

郡の堆肥増産

壯丁機甲訓練

医に眠る最後の一片の金閣まで | 風回收運動を開始してゐたが、こ | 春など生活必然品まで一點の惜し

金屬回收運動に龍山區が先陣

我が家の寳も車に積ん

國部へ 畝納の手腕ををとる、なほ式を近く執行したのち、朝鮮軍型

競小防火優秀班

決蔵下、防空、防火の重要性が日

を行び天晴れ府内の最優秀班を 決定する

の書りがどうさりこもうた心間談(に取る監督派を駆して銃送の決定 誠こめて慰問袋 南方戦線へどつさり送らう

本町署へ寄託献金

區行改を改善

所では一日午後二時から府委

長の打合せ

よくぞ向上した

MAに言葉よ… の数字來進步したね、殊に一める一告道で國際を宣揚し載力な

彼は心身が緩々掛り成つていく樹むにしていくのを見た。

そらなくては、光頭をふり たてて、自分のロッカーで戻つて 加太郎は、いつまでも然に凭れ

裁九月生募

國民制力京城府聯盟では六日 防空指導講習會

朝鮮有煙炭ッ會社際経過

朝鮮銀行庶務課 賣 家 松宮特計事務所

の

特許商標

虫回

石綿板 ジイント 3/1971 朝鮮アスペスト工業株式会社 特別の店

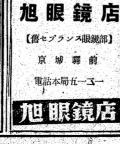




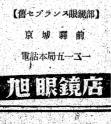


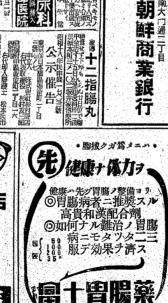


復法











* STORY の 精神力も體力も強い 母乳で育った小供は

支喘息·威胃 核•肋腹膜炎 家教员

(遺原症) (包括) 2800 18費 2800 58費 ルーコゾオチ

大内弘・久公三神技・大内弘・久公三神技・大内弘・久公三神技・大内弘・久公三神技・大内弘・久公三神技・大内弘・久公三神技・大内弘・久公三神技・大内弘・久公三神技・大内弘・久公三神技・大内弘・久公三神技・

》淑英娘子 是原来想 文娘子 金組

洋裁生徒募集

京

創

明治三十二年

女舞月

夢のふるさと

ン油皮材薬 大學 一大學 的事 " 大學 的事 " 大學 的事 " 大學 的事 " 张 北島藥店

、淨製糊製 性活種各 (富豊庫在)

風の意明によればドイツ軍長田 【ベルソン卅一局配】 ドイツ年

神を東北に向つて進む英國年

結婚するため國家新助は監明を質

この歌画でわが方は一機を失つた

英艦隊に命中弾

獨長距離砲陣一齊に猛射

物が不優し,直ちにわが微鏡機はこれを激解、窓中蔵の入ら1種を鍼繁。一種を参え炎にせしめた側の原本学年〇〇滋地帯1日削型】アラフラ瀑のアルイ路島マイコールに対し卅日年後歳収後院院務

敵機一機を屠るでも選撃

P39、ボートシコルスキーF4U戦闘機計廿機を 撃墜、他を撃破、撃退した、お方E5の機像は直ちにこれを邀撃、熾烈な空中戦を交へ、コンソリデー テット2爆撃機およびベーゲンビル島東端方面に戦爆連合約五十機以上の編隊をもつて來襲したが、 わが海軍戦

航空局長官 山田 良秀

ビルシ五十機を海鷲邀撃

ソロモン群島方面のわが前進基地に對し反攻で試みる 敵は卅日

進攻命令下達 Book

【ベルソン#一日問題】ドイツに

伊本土上陸

實現へ邁進総動員體制

注せんとするものである。
注せんとするものである

宇垣莞爾中將 支那方面艦

マカツサル支店分のみにつき

の銀行の手で行はれてゐたが、こ一件公式に意談を遂げたが、さら

・る油質は本年四月十八日以來台 ドンに到着、英國外相イーデン

すり「四支店」オランダ「八文店

代理四 殿印殿 六支四 及び

ン來電=ンヴェト外務人民委員が

總督放送要旨三

増産、決戰に連る

小磯總督の激励 、けさ放送

の放送は直ちに鉄管され同日午一の緊持を原願(三) 聴域製和の精一に、何の縁にといる項由目標が限一でない、この意味から感に知い計 が協力を要名すべく年前六時世分とも約4分間に置り京城中央波路局のマイクを通じて大衆に呼びかけた 信集を寄せ、同時に一般官民に對 岬を以て國民權力能を置い扱けと の中に明確に到付けられて居らな、現で職争の見方、考へ方を貼して

に立つ米國は、武器、軍協品の生 増産で覆滅せよ

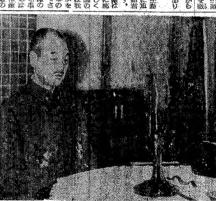
の實住の立場を充分すると同一場に激り歌らんことを期待致すの一であります。

一風·高血壓·神經痛

原因を明に上

今津博士の素晴しい研究

重要産業は今や戦闘團體



量取將兵に劣る所なき世任職」身報國の感激も大である質問

最後の勝利へ

談の吊上次の如き接

をすくめる機構築ついて電がフて一葉フて見えるのとの意識はその質一線が多切給すべき基本的なる重要一量短が上述司令官より「下は一気」い、戦局の推移に伴ひ逃滅重発は一格である。かくして日報観察はい

・眼点なものとなり、潮洲國に



青木大東亞相在滿首腦者を激励

【新草井】日印図】四木大

官民に希む

関々の美音圓熟せる藝術

張務所所

古中·興南·維中、大里·七大阪、若松、佐世保、穆

柳至田州 字垣 完爾

航空局長官

【東京電站】処信省では航空局長

に小松茂氏



内務鮮令 (#1日)

海事深會掌規定改正

に臨み、潮洲國政府安略と交権に組み、潮州國政府安略と交権

拂戾し開始

敵性銀行整理 マカッサルの

を提出したことが確認された。 ◆ 谷岡第二氏 (開欄排附對、東西 第次員 起架後以解投) 四日午廟 八段四十五分泉 购公来 乙 今 此 人

約して効果的につかひませず

は最良の品質を

撰譯し

ケペグパしい独ひを一緒してお互に

荣養クリームの 健康色で 行きませう

社名變更謹告

リ當社社名ヲ左ノ通リ變更致候間此段

新社名名 株式會社大澤商會京城支店 **大澤産業株式會社京城支店**

1

本日より同う二ケ月間を押し取一に戦しては以下三つの心傷を操け

九月醋三百間 朝日座 五時半六

町社名ヲ左記ノ通リ 變更後候間此段 ***** 丽

名

株式白社三

噫アツツ島の華波

々伯部少佐

農作物 合 息の努力

き壁を出さればならぬからしれぬ一ねばなるまい。勝人と絶急ところ

赤心忽ち五千圓

全鮮金組職員が献金

徴兵制へ怒濤の

りょ

切系

映満・寶東

勝の

得がたき武人
戦友が語る

の如く眠つた

前からずつと一緒だった。海



故少佐の経筆

資

系 ţŋ





けかの市況(三)

篇外餘録 (周野にあい順即だつたことは、

孔明の一学校であつたやうに似は

「医商基國橋高 9/190-0-元=0前A55巻・ルハー8ブニ町宝典版場京

社社



『頻慢報図』の理解を

講師原田氏來鮮傷痍軍人鍊成會

!れ造艦

際、朝鮮医會、瓦城鎮道大参採の感悟肝戦山 山門後、明照

撃退せよ病の秋秀攻勢

城 府 月 月 日 級生 集

北鄉水力電氣株式會北鄉水力電氣株式會北鄉水力電氣株式會

過り 敏 症 ロ